

## ニュージーランド留学を終えて

湧別高校2年 菅原 美優

私の目標の1つ目、「食文化の違い」で一番驚いたのは、一度の食事で食べる量です。一枚のお皿にほんの少しのサラダと少しのおかずだけでした。こんな量でお腹いっぱいになるのかと思ったら、その後アイスを食べたりお菓子を食べたりしていました。どうして食事の時にしっかり食べないのかと不思議でした。そして、ニュージーランドのジャムが苦くてしょっぱくて変な味でした。

2つ目の「英会話力をつける」は、正直自分ではあまりついたかわかりません。でも、バディのジェスとニュージーランドの冬のことを教えてもらったり、夜は部屋で英語を教えてもらったりしました。さすがに全部はわからなかったので、翻訳を使ったりしていました。彩華のバディのニーフとバスの席が隣になった時、色々な話ができたたくさん笑いました。言葉がちゃんとわからなくても、楽しいものだと思いました。

3つ目の「学校生活の様子」は、もう上げ切れない程多かったです。モーニングティータイムは初めてで、お菓子やまるごと人参を持ちながら歩いていたり地べたに座って食べたりして、すごいなと思いました。日本にもこの時間を作って欲しいなと思いました。クラスの様子はとても自由な感じでした。先生が見ていない間に物を投げたり、急に教室を出て行ったり、全くプリントやノートに書こうとしなかったりしていました。そして驚いたのが、ノートやホワイトボードに書くペンの色は青だということです。丸つけを黒でやっていて日本とは全然違うなと思いました。あまり違いを聞くことはできなかつたけど、自分でたくさん見つけることができました。

家での生活の違いもたくさんありました。シャワーしか浴びられない9日間はやはり辛かったです。ずっと浴槽に入りたかったです。そして一日スーツケースが無くてハブラシをニュージーランドの物を使った時、その大きさに驚きました。歯には合わないような大きさと、磨きづらかったです。

初めての家での食事の時、ジェスがアイスの欠片を落としてそれをすぐに弟のロックランが拾っていました。そのまま捨てるのかと思ったら、普通に落としたアイスを食べいて衝撃を受けました。靴で歩いている所に落ちたのに食べる事が信じられませんでした。外国は平気でそういう事をするのだと思いました。そしてもう一つ驚いたのが、外にいる飼い犬がドアを開けたらそのままの汚い足でベッドやソファの上に上がっていたことです。私が寝ているベッドにも上がってきて、布団に少し汚れがついていました。それを気にしないガレトリーファミリーに驚きました。

ニュージーランドでは、たくさんの事を学びました。ニュージーランドの言葉や、マオリの事など学ぶ事はとても多かったです。ルビコンファームでは初めて見た犬が羊を追う姿が印象的でした。犬がほえないようにしつけされていたり、羊のしっぽの落とし方などの話を聞きました。地震の話もとても心に残っています。スミさんが地震は今起きるかも

しれないと言っていたのをよく覚えています。白いイスが亡くなられた人数分置いてあったりして、優しい国だなと思いました。

私はあまり英語を話せないけれど、ニュージーランドの人々が優しく受け入れてくれて行って良かったなと思いました。うまく英単語が出てこなくて、通じない時もありました。でもジェスチャーなどを使って、なんとか通じた時は嬉しかったです。貴重な体験ができて、本当に行って良かったなと思いました。